

令和6年度第1回千葉県慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策部会 議事要旨（R6.7.11開催）

1. 千葉県糖尿病性腎症・慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策事業進捗状況と 令和6年度の取組について

- 令和6年4月に策定された健康ちば21（第三次）において、CKD対策が重要な課題として位置づけられ、今年度以降より一層の取組促進を行う。
- 令和5年度のCKD重症化予防対策に取り組む市町村数は、前年度より10増加し32市町村となった。昨年度から開始された県の補助金の活用や、KDBシステムの活用についての周知を通して市町村への支援を行い、取組市町村の増加を目指す。
- 令和5年度から開始した、千葉県薬剤師会公認CKD協力薬局制度や栄養ケア・ステーションを活用した外来食事指導についても、引き続き取組拡大を行う。
栄養指導に関しては、在宅での栄養指導制度もスタートしており、既にCKD患者への指導も実施されている。

2. 働く世代におけるCKD重症化予防の拡充について

- 新規透析導入患者数の減少や透析導入開始を遅らせるためには、若い勤労世代への働きかけが重要である。協会けんぽではすでに受診勧奨を進めているが、他の社保や産業保健分野への働きかけについて協議を行った。
- 県や各市町村で行われている地域・職域連携協議会の活用や、産業医へのアプローチ方法について、引き続き検討を続けることとなった。

3. 千葉県CKD対策協力医に向けた働きかけについて

- 令和6年5月時点で協力医の登録は254名、協力医不在市町村は15である。
引き続き登録拡大を進めるとともに、協力医向けに知識・情報の提供や、腎臓専門医との連携強化のための働きかけを行い、腎臓専門医・協力医間の紹介及び逆紹介の活発化につなげていく。
- 令和5年度に作成を開始した「CKD対策協力医通信」について、関係団体の協力を得ながら今年度も作成していく予定である。

4. 医師会員に向けた検査ワンチェックオーダー化について

- 医師会員の先生方へ周知を進めていくため、昨年度の検討会でいただいた御意見を踏まえた修正案を提示し協議を行った。

5. その他

- 令和5年度に続き、令和6年度も「慢性腎臓病（CKD）重症化予防のための診療体制構築及び多職種連携モデル事業」に千葉東病院が選定されたことを報告した。